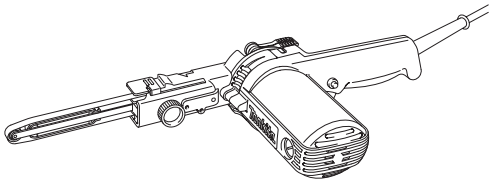
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

9mmベルトサンダ

回 モデル 9032



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ベルトサンダ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

- 主要機能 ---- 3
- 安全上のご注意 ---- 4
- ベルトサンダ安全上のご注意 ---- 10
- 各部の名称および標準付属品 ---- 12
- 別販売品のご紹介 ---- 13
- 使い方 ---- 14
  - サンディングベルトの取り付け・取りはずし方 ---- 14
  - ベルトの調整 ---- 14
  - アームの角度調整 ---- 14
  - アームの交換方法 ---- 14
  - スイッチの操作 ---- 15
  - スピード調整ダイヤルの操作 ---- 15
  - 研削方法 ---- 16
- 別販売品の使い方 ---- 17
  - ダストノズル（別販売品）について ---- 17
  - 集じん機との接続 ---- 17
- 保守・点検について ---- 18
  - カーボンブラシの点検 ---- 18
  - カーボンブラシの交換 ---- 18
  - 本製品のお手入れ ---- 18
  - ご修理の際は ---- 18

主要機能

モデル 主要機能	9032
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100 V
電流	5.3 A
周波数	50-60 Hz
消費電力	500 W
ベルト寸法	幅 9 mm ×長さ 533 mm
ベルト速度	5 ～ 28 m/s（m/ 秒）（300 ～ 1,700 m/min（m/ 分））
全長	420 mm
質量	1.5 kg
振動 3 軸合成値	< 2.5 m/s^2

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-4 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA〔（社）日本電機工業会〕ウェブサイト：（http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html）をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

JPA001-35

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 電動工具から離れるとき
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。

11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
- けがの原因になります。

12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

⚠警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ベルトサンダ安全上のご注意

JPB007-5

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ベルトサンダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
3. 材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
4. クランプ使用時以外は材料を手に持っての研削はしないでください。
・ けがの原因になります。
5. 水、研削液などは使用しないでください。
・ 感電事故のもとになります。
6. 本製品を万力などで保持した使い方はしないでください。
・ 思わぬけがの原因になります。
7. 使用中は切粉排出口に指などを入れないでください。
・ けがの原因になります。
8. 鉄を研削する場合、研削粉は火花となって飛散しますから、引火しやすいもの、傷つきやすいものは危険のないところに遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
・ 火災ややけどの原因になります。
9. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 以下の場合はダストバッグを掃除して、粉じんを取り除いてください。残った粉じんは発火の原因になります。
・ 木材などを研磨した後に、鋼板を研磨するとき
・ 研磨作業終了後
12. 重負荷で長時間鋼板を研磨しないでください。
・ 熱を持った研磨粉でダストバッグが損傷する恐れがあります。

⚠注意

1. サンディングベルトや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
3. 使用中は、本製品の底面および前部に手など身体を近づけないでください。
・ サンディングベルトに触れ、けがの原因になります。
4. スイッチを切った後も、惰性で回転しているサンディングベルトに注意してください。
・ 手などが触れると、けがの原因になります。
5. 高所作業のときは､下に人がいないことをよく確かめてください｡また､コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれけがの原因になります。

注

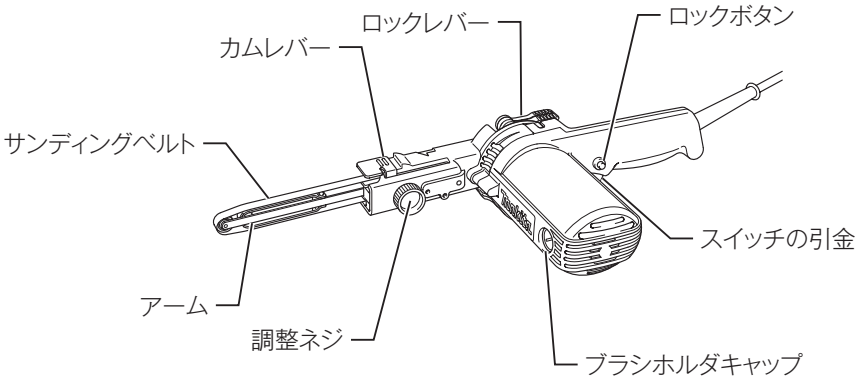
・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

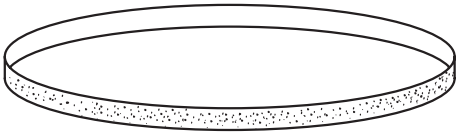
各部の名称および標準付属品



標準付属品

・ 9mm サンディングベルト
#40、#60、#80、#100、#120
（各 2 枚）

・ 9mm アーム（本製品取り付け）
部品番号：A-34805

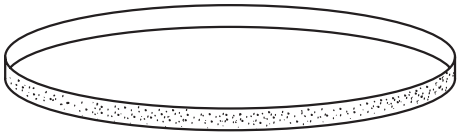


別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

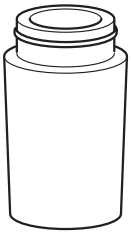
・ アーム
6 mm　部品番号：A-34796
9 mm　部品番号：A-34805
13 mm　部品番号：A-34811

・ サンディングベルト

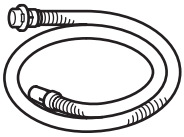


ベルトサイズ	ベルトサイズ	ベルトサイズ	粒度	砥粒	種類	用途
6 mm × 533 mm	9 mm × 533 mm	13mm × 533mm				
部品番号	部品番号	部品番号				
A-34512	A-34447	A-34562	40	AA	粗仕上	鉄工用（木工使用も可）
A-34528	A-34453	A-34578	60			
A-34534	A-34469	A-34584	80		中仕上	
A-34540	A-34475	A-34590	100			
A-34556	A-34481	A-34609	120			
A-34827	A-34849	A-34861	150		仕上	
A-34833	A-34855	A-34877	240			

・ ダストノズルアッセンブリ
部品番号：122652-8



・ ホース 28-5 セット品
部品番号：A-34229
・ ホース 28-1.5 セット品
部品番号：A-34235



サンディングベルトの取り付け・取りはずし方

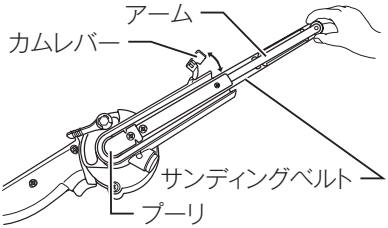
⚠ 警告

サンディングベルトの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、事故の原因になります。

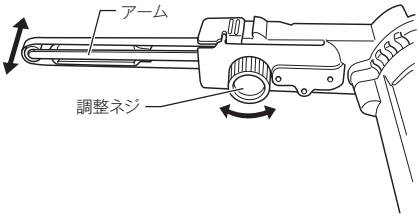
取り付け方

・ カムレバーを手前に引いてください。サンディングベルトを後部プーリの奥までしっかり掛け、アーム側へ引張りながら前部プーリに掛けてください。その後、カムレバーをもとに戻してください。



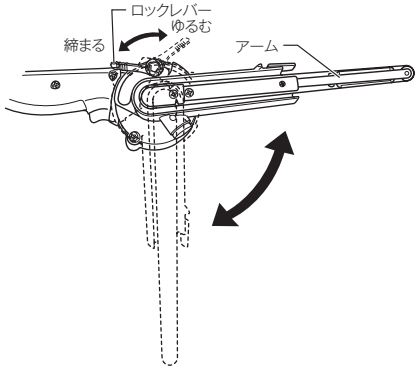
ベルトの調整

・ 取り付けが終わりましたらスイッチを入れサンディングベルトがアームからはずれたりしないことを確認してください。サンディングベルトがアームの中心になるようにベルト調整ネジを回して調整してください。
右に回すとベルトは右に、左に回すとベルトは左に移動します。



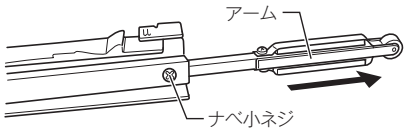
アームの角度調整

・ 作業位置や被研削物の形状に合わせてアームの角度を図の範囲でお好みの位置に固定できます。
・ ロックレバーを持ち上げゆるめてください。
・ アームをお好みの位置に合わせてロックレバーを締め付けしっかり固定してください。



アームの交換方法

・ 別販売品のアームに取り替えることにより、6 mm、13 mm 幅のベルトも使用できます。
・ アーム側のナベ小ネジ（1 か所）を外してアームを取りはずしてください。
・ 使用するサンディングベルト幅に合ったアームを挿入し、ネジで固定してください。



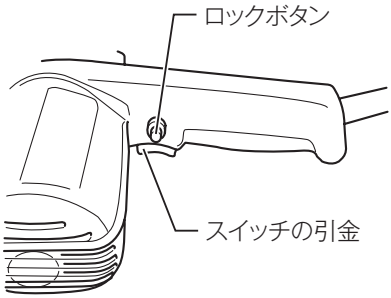
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

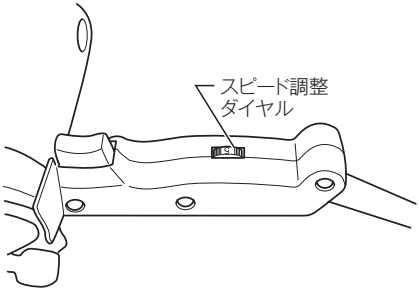
・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。スイッチの引金をいっぱいに引いてからロックボタンを押し込むと、引金を放しても引金が固定され連続運転します。停止させるにはもう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を放してください。



スピード調整ダイヤルの操作

・ スピード調整ダイヤルを回すことにより、毎秒 5 ～ 28 m の間で自由にサンディングベルト速度を変えられます。材料・用途によってお好みのサンディングベルト速度をお選びください。
・ ダイヤル表示は 1 ～ 6 まであり、数字が大きくなるに従ってサンディングベルト速度が速くなります。

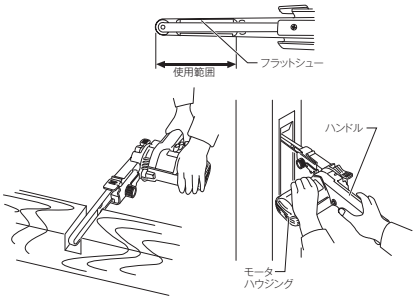


注

・ **スピード調整ダイヤルは 1 より下には回りません。また 6 より上にも回りません。無理に回しますと故障の原因になりますので、スピード調整ダイヤルは必ず 1 → 2 → 3…6、6 → 5 → 4…1 の範囲で回してください。**

研削方法

・ 本製品が加工面に接していない状態でスイッチを入れてください。
・ 本製品を両手で確実に保持し、サンディングベルト面が均一に加工面にあたるようにして、本製品を前後に動かして作業してください。
・ サンディングベルトの使用面は本製品フラットシューから先の範囲で行ってください。



注

・ 本製品は、材料に対し軽くあてる程度でご使用ください。強く押しつけますと能率が悪くなり、サンディングベルトの寿命も短くなります。
・ ダストノズルを使わない場合は、本製品の集じん口にキャップをしてください。
・ スイッチの入・切は本製品を加工面から離して行ってください。加工面に本製品を置いたままスイッチの入･切をしますと、加工面を傷つけたり、サンディングベルトを破損させることがあります。
・ 作業するときには必ずハンドルとモータハウジングをしっかり持って作業してください。

別販売品の使い方

ダストノズル（別販売品）について

・ 本製品にダストノズルを取り付けることにより当社集じん機と接続でき、衛生的に作業をすることができます。

集じん機との接続

・ ダストノズルに合うホース、ジョイントを使用して集じん機へ接続してください。詳細は総合カタログを参照してください。

保守・点検について

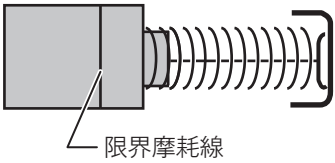
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

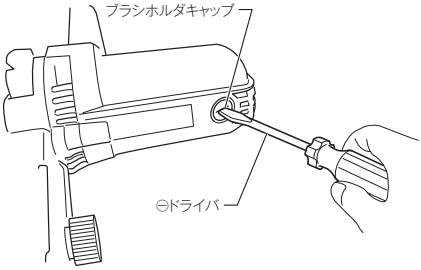
カーボンブラシの点検

・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



カーボンブラシの交換

・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
・ カーボンブラシは２個で１組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。



本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

882047D4
IWT